

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
TEL 06-6765-8904
FAX 06-6765-8905

「カジノストップ! 府民一人ひとりを大切に する府政に」を大きく広げた府民の共同 「教育こわし」を許さず、子どもたちに豊かな教育条件を!

大阪府知事選の結果について

(談話)

大阪府立障害児学校教職員組合
書記長 荒谷美里

4月9日投票の知事選挙では、大障教が参加する「明るい民主大阪府政をつくる会(明るい会)」が擁立したたつみコータロー候補は、26万3355票(得票率8.8%)を得たものの、当選には至りませんでした。

「カジノストップ! 府民一人ひとりを大切に」を掲げて共同を広げ、大阪府政の転換に向けて奮闘されたみなさんに、心より敬意を表します。

浮き彫りになった「維新府政」の実態

今回の選挙は、12年ぶりに「明るい会」として独自候補を擁立しました。「維新府政」と真正面から対決し、転換すべき政策を示したわかりやすい論戦で、多くの府民に響くものとなり、「カジノ誘致撤回・いのちくらしを守る・公教育の再生」の3つの争点が鮮明になりました。たつみ候補は、教育問題では、「教育無償化は当然のこと、問

ちをおおいに励まし、今後の大阪の進むべき方向を明るく照らすものになりました。

最大の焦点となった「カジノ(IIR)」問題では、維新

会が当初から「争点外し」を決め込んでいたが、たつみ候補がテレビ討論で厳しく追及すると、逃げる姿勢に終

始しました。「新型コロナ対策」については、保健・医療

体制の削減から、たつみ候補は「拡充への転換」を根本問

題として提起しましたが、維新の会は全国一のコロナ感染

死者を生み出した実態も、今後の対策についても全く触れ

ませんでした。

子ども一人ひとりが大切にされる府政を

維新府政のもとで、「教育こわし」が進められ、子どもたちや教職員をとりまく環境は深刻です。支援学校の教育条件整備については、待ったなしの状況です。「過大・過密」「授業不足」「教員不足」

このように府政の焦点となる大問題では、維新の会はま

ともいって論戦に心をこめ、ごまかしと守勢に陥り、「府

市一体で大阪を成長させた」

「身を切る改革で財政を立て直した」と事実と異なる主張

を繰り返しました。

選挙戦で示された各種世論調査において、「カジノ誘致」

については、およそ府民全意を得ていません。このまま

「カジノ誘致」に突き進むこ

とは断じて許されません。さらに、コロナ対策、物価対策、

教育問題など、今回の選挙戦でいっそう浮き彫りになった課題が山積しています。

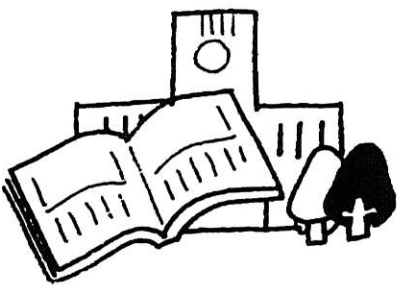


を解消するために、支援学校の抜本的増設、学習環境の改善を求めて、引き続き、とりくみをひろげていきます。

大障教は、今回の知事選で掲げた府民要求や政策の実現

へ、府民との共同をひろげる

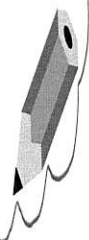
ためにより一層奮闘する決意です。



大障教ホームページアドレス <http://fc06631220171211.web2.blks.jp/> Eメールアドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp

書記局の

つよし



『二十四の瞳』は私の愛読書の一つだ。主人公は香川県・小豆島の分教場の12人の子どもたちと大石先生。小説のなかの「二本松の写真」は、ケガで学校を長く休んでいた大石先生を心配して、子どもたち全員がはるばる徒歩で先生の自宅を訪ね、幸運にも再会を果たすという名シーンだ。

私は小説のこの場面と同じような体験を持っている。「会いに行こう」というノリで、小学校卒業後の春休みに同級生数人で担任の先生の家を訪ねたのだ。アポなし。何本か電車を乗り継ぎ、奇跡的に先生の自宅に辿りついた。

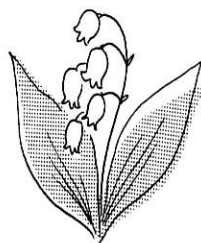
ある日先生は社会の授業で、自分自身の名前の由来を話された。「私の名前のなかの『満』は中国の満州から来ているのです」と。満州は言うまでもなく戦前の日本政府が中国東北部に設立した傀儡(かいらい)国家。私にとって日本の過去の戦争の過ちを認識する出発点になった。私は小・中・高校時代を大阪で過ごした。大阪の教員になってわかったことだが、恩師の多くは教職員組合のメンバーだった。『二十四の瞳』の大石先生の反戦平和と民主主義教育への希求は私の恩師に引き継がれていた。その希求を私がいま引き継いでいるという感慨は深い。そして次世代に引き継がなければと思う。

『二十四の瞳』の子どもたちの運命は、戦争のために激変した。この小説の終章は何度読んでも涙を抑えることができない。いま岸田政権は安保三文書を決定し専守防衛の国号を掲げ捨てようとしている。大障教は今年度の運動方針で、戦争への道を許さず憲法を守るたたかいを組員・教職員に強く呼びかける。拙歌を掲げコラムの結びとする。

問はれてる教師の生き方

「二十四の瞳」の男子の三人(みたり)は還らず

(S)



集まれば元気! 分会のとりくみ



生野聴覚支援学校分会では、3月31日に退職者を祝う会、4月3日には新転任歓迎昼食会を開きました。

31日は分会員で集まり、定年を迎えられる先生をお祝いしました。引き続き再任用で来てくださいます

が、節目にご挨拶を頂きました。「組合では社会の問題にも目を向ける。そのことが大切です。」というお話がとても印象に残りました。

3日は、新しく来られる先生方と分会員全員のお弁当を用意してお昼を一緒に食べました。自己紹介をしてお喋りに花が咲きました。組合の活動も紹介しました。初顔合わせの緊張も溶け、打ち解けることができて良かったです。

(生野聴覚支援分会 前田 綾)



今年も年度初めの新歓行事として、昼食会をしました。3日の朝、分会長がたいせんに来てくださった先生方に組合を紹介するお手紙を渡しにいき、「5日はお弁当を準備するのでぜひ来てください」とお願いしたところ、会議や新年度準備など忙しいスケジュールの合間をぬって、新転任の先生方全員が集まってくれました。今年も楽しい自己紹介で盛り上がり、最後は「何か困ったことや相談があれば組合へ」という分会長の心強い言葉で締めくくられました。昼休みだけではとても時間が足りなくて、コロナ禍前に毎年近くの公園でやっていたバーベキューを早く復活させたいね、と言い合いながら散会となりました。

授業が始まり、その日の仕事に追われる毎日ですが、時には余裕を持って話し合ったり相談したりする時間が必要です。職場の仲間づくりという点でも、組合の意義は大きいと感じています。

(たいせん聴覚高等支援分会 藤田みのり)



守口支援学校分会では、新年度のバタバタの中ですが、守口支援学校に新たに赴任された先生方への歓迎と年度初めの私たち教職員の労いを込めて、全教職員に分会からの手紙と大教済職場賞のおいしいジュースを添えてお渡ししました。

分会からは、「守口支援学校の子どもたちの教育条件整備、そこで働く私たち教職員の労働条件改善に向けてみんなで力を合わせていきましょう！」

「組合への加入をお待ちしています！」と呼びかけをしました。今年度も共済カフェなどを開催して、みんなでつながる機会を大事にしていきたいと思います。

(守口支援学校分会 和田 裕二)



【2024年度政府予算に向けた 文部科学概算要求に対する要請署名 (えがお署名)】にご協力ください!



教育予算をふやして
かがやけ!
みんなのえがお
の力をあわせて大きく育てるために

せんせい ふやそう!
どの学校も少人数学級に!
教育無償化!



ネット署名もあります。

QRコードをクリックしてください

URLは、こちらです→ <https://chng.it/kTBNDDVa>

めざそう!! 仲間とともに

なにわの教員採用選考学習会

第1回 4月29日(土) エル・おおさか
教育法規・時事、合格者の体験談

第2回 5月14日(日) たかつガーデン
面接ポイント、面接練習

第3回 6月10日(土) たかつガーデン
エントリーシートの書き方、面接練習

※申込は、大阪教職員組合
Webサイトより受付中

